

つくろう そだてよう 心かよう ねがたのキャンパス

袖ヶ浦市根形公民館



根形公民館（外観）



ねがたオープンキャンパス（愛称：ねこまる）

公民館の沿革・年表

昭和62年4月 開館
 平成26年8月
 「ねがたオープンキャンパス」（愛称：ねこまる）スタート
 平成28年11月
 第68回千葉県公民館研究大会にて発表（ねこまる）
 令和元年11月
 千葉県教育功労者表彰 受賞
 令和2年1月
 ちば講座アワード入選（ねこまる）

左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

根形公民館は、芸術文化活動に重点を置き、かつ、市内の公民館で唯一陶芸窯があることもあり、陶芸や絵画、書道といった文化系サークルが多く活動している。一方、館内には軽スポーツもできる多目的ホールがあり、テニスコート及び運動広場も隣接していることから、土日はスポーツサークルや少年野球が活動するなど、年間をととして老若男女が集う公民館である。そのような**ポテンシャルを最大限活用している事業が「ねこまる」**である。

1. 都道府県名	千葉県	3. 公民館対象人口	5759人	5. 来館者のインターネット接続環境	無し
2. 市区町村名	袖ヶ浦市	4. 建物設置年月日	昭和62年2月20日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者（ <input type="checkbox"/> 〇〇地区まちづくり協議会） <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 857人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 20231人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 484人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 0人（ <input type="checkbox"/> ）			合計	21,572人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 3人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 （職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人）			合計	4人
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）				
11. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他（袖ヶ浦市は市民会館が公民館運営審議会を担当）				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）				
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他（袖ヶ浦市内唯一の陶芸窯があります。） <input type="checkbox"/> 自由記述（ <input type="checkbox"/> ）				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 根形保育所、根形小・中学校、袖ヶ浦高校、ミライキカク、袖ヶ浦市レクリエーション協会、公民館登録サークル、袖ヶ浦市風保存会、袖ヶ浦市役所（環境管理課 他）、中央図書館、郷土博物館、ゆりの里、NESUPO 他				

袖ヶ浦市根形公民館

OPEN 9:00~17:00

TEL 0438-62-6161

H P <http://sodegaura.homepage/soshiki/negata-kominkan>

SNS



SNS等のQRコード（なければ削除）



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

平成26年に開催した袖ヶ浦市成人式後に、根形地区の新成人たちから「**自分たちが育った根形地区や公民館の活動に協力したい**」との申し出があった。地域の若者たちに地域・公民館活動に参画して欲しいという課題があった中で、この申し出をきっかけに、将来、地域を担う仲間となる青少年が集い、交流し、共に成長できる場と機会を設けるとともに、根形公民館を地域のキャンパスとするため、「**ねがたオープンキャンパス（愛称：ねこまる）**」と名付け、事業をスタートした。

「ねこまる」という愛称には、「**ねがたこうみんかんにあつまろう**」という意味が込められている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

■活動名

「ねがたオープンキャンパス（愛称：ねこまる）」

■運営方法

主催 根形公民館、N.O.C※

※根形地区にゆかりのある若者で構成されたグループ。

「N.O.C」は、「NEGATA OPEN CAMPUS」の頭文字をとり、命名した。

■活動内容

主に夏休み期間、根形小学校児童を対象に、N.O.Cや大人が、勉強を教えたり、一緒に遊んだりするなど、様々な体験活動の機会を提供している。

■運営の工夫

袖ヶ浦市成人式などの場を活用し、事業PRを行っている。また、現在は、地域の先輩後輩や公民館サークル、地域住民への声掛けを行い、事業運営のスタッフを確保している。



勉強を教えている様子



袖ヶ浦市成人式でねこまるPR

3. 取組による成果や効果

■ねこまるの成果や効果

①地域人材の育成・発掘の場づくり

②地域の多世代交流の場づくり

③参加者の成長・成果発表の場づくり

⇒公民館事業に高校生、大学生などの若者が参加するようになった。また、事業支援者・団体が増加傾向である。

N.O.Cから、「子どもたちとの交流をととして、地元がさらに好きになった。地域の方々の協力に感謝している」という声が挙がっている。また、参加している子どもたちからは、「高校生になったら、N.O.Cとして企画及び運営に携わりたい」という声も出てきている。

現在は、事業に関わる地域の方々の「活動を支えよう」という機運も高まっている。



N.O.Cも公民館まつりに参加

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

①反省会の実施

事業終了後の当日にN.O.Cや公民館、支援者らと交え反省会を行ったり、参加者及びスタッフアンケートを実施。

②活動事例の紹介・報告

千葉県公民館研究大会などの場で活動事例を紹介し、市外に向けて情報を発信するとともに、広く意見を求めている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

①大切にしていること

公民館利用者や関係者、地域の方々の意見に「耳を傾ける」こと、「対話」をすること。

②大切にしている考え

上記①を実践し、信頼関係を築く。**公民館は地域に根付いてこそ意義がある。**



地域との対話を大切に

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

地域住民から「公民館を活用するぞ！」と思われるような公民館を目指したい。その実現に向けて、「**公民館と関わるとおもしろい、自分たちの実践したいことに取り組める！**」と実感できるよう、今後も「ねこまる」を中心に地域を盛り上げていきたい。



若者の参画も目指します